

新しい(NEW)理想郷(UTOPIA)

NEW PIA

N.138

2024 1.15

岸和田市国際親善協会だより **にゅとぴあ岸和田**
INTERNATIONAL FRIENDSHIP ASSOCIATION OF KISHIWADA

SSF市姉妹都市協会 岸和田市訪問
書道体験と親睦交流会

芸術の秋・友好都市3都市との文化交流
市展受賞作品・永登浦区芸術文化作品 合同展覧会
日中小学生絵画交流展

マレーシア・スルタンスマイル
国民中等学校異文化体験交流会

ふれあい交流祭りレポート

岸和田ブックフェスタ
絵本でつながるみんなの世界

フォトサロン
地球どんぶり ミカン狩り

連載

English Open Café

連載

世界の民族衣装
ネパール編

にほんご くめだいけ
やさしい日本語 「久米田池」



Since 1989

いふきわた
岸和田市国際親善協会

「久米田池 日の出」

表紙デザイン Shinako Abue

「にゅとぴあ岸和田」は世界の人びと、団体、都市との出会いを求め、ふれあいを大切にした親善・交流を通して互いの連帯を深め、世界の平和と繁栄、人びとの幸福の増進のための貢献を目的とした、岸和田市国際親善協会の活動記録とメッセージの発行物です。



SSF市姉妹都市協会 F・マッコリー会長よりお礼の言葉

岸和田市の姉妹都市のサウスサンフランシスコ市から、姉妹都市協会会長のフランク・マッコリー氏を団長とした15名が岸和田を訪問。後日、フランク会長から、お礼のメッセージが届きました。

In October the South San Francisco Sister Cities Association visited Kishiwada. We chose October so we could attend the Danjiri Matsuri, and it did not disappoint.

A few of us had seen the Danjiri back in 2015 when we last visited Kishiwada but all of us thoroughly enjoyed the viewing room we shared with the Mayor at Kumeda Temple. Watching the carts coming down the street and racing into the Temple grounds was exciting for us as it was for the hundreds of young men pulling the carts.

Later that night several of us got to go out of our hotel and see the carts decorated with lots of lanterns, very pretty.

We also got to visit the Fire Department, the Castle, Gofuso where we had the Mayor's gift exchange.

The highlight of our visit was meeting our friends from the International Friendship Association. We had fun learning Japanese calligraphy, a shopping experience and a delicious dinner.

We then had to move on to Hiroshima sad for our time together to be over.

The IFA visited South San Francisco in 2018 and my group all agreed that next year would be a good time to visit us again

Hope to see everyone in SSF in 2024.

Frank McAuley

日本語抄訳

10月にサウスサンフランシスコ姉妹都市協会が岸和田を訪問しました。

2015年に岸和田を訪れ、だんじりを見た人も何人かいましたが、今回の久米田寺で市長と一緒に観覧室から見ただんじり祭は最高でした。だんじりが通りを下りてきて、境内にすごいスピードで入っていくのを見るのは、だんじりを引く何百人もの若者たちとおなじく、私たちにとっても刺激的でした。

その夜遅く、私たち何人かがホテルの外に出て、たくさんの提灯で飾られたとてもきれいなだんじりを見ました。

また、消防署、城、五風荘を訪問し、市長との記念品の交換も行いました。

私たちの訪問のハイライトは、岸和田市親善協会の友人たちに会ったことです。書道を習ったり、ショッピング体験をしたり、美味しい夕食を食べたりして楽しく過ごしました。

その後、広島に移動しました。

岸和田市国際親善協会は2018年にサウスサンフランシスコを訪問しましたが、私たちは全員、2024年にサウスサンフランシスコで皆さんにお会いできることを楽しみにしています。

フランク・マッコリー

新年のごあいさつ



岸和田市国際親善協会
会長 井上 實



平穩のうちに新年を迎えられたことを、会員・市民の皆様とともにお慶び申し上げます。

年末年始久米田池の畔、東の空を仰ぐと朝焼けのグラデーションに一瞬目を奪われます。

さて、昨年は新型コロナの猛威も薄らぎ、何年かぶりに本協会の諸事業を実施できました。9月には、だんじりインフォメーションセンターを開設、多くの国から訪問者を迎えることができました。また、10月にはサウスサンフランシスコ姉妹都市委員会から15名のゲストをお迎えし、日本文化体験などで交流を深めることができました。

それはさておき今年『平和を愛する人は、他の国々の人のいのちを大切にしよう』(日野原重明詩集)しかえしないういよ、105歳の出版から)そんな一年にと思えます。

マレーシアから来日された中高校生の皆さんの書道体験のお手伝いをしました。

彼らは、マレーシアにあるスルタンスマイル中高等学校を中心としたソーランクラブのメンバーです。4年ぶりに開催された『大阪メチャハッピー祭』でソーラン踊りを披露するためにやってきた彼らは、日本の文化にも興味津々、少し緊張しながらも期待いっぱいの顔で書道体験の部屋に入ってきました。

くじで引いた漢字一文字を半紙で何度か練習した後、しき紙に清書します。『夢』や『龍』など画数の多い字を引いて「え〜」と言う顔、『木』など画数の少ない字を引いてホッとする顔。けれどももいざ書いてみると、画

数の少ない字はバランスが難しく四苦八苦、画数の多い字はよく見て写していけばそれなりに様になっていくのです。納得のいくまで何度も練習してから清書に取り組む生徒、チャチャッと練習して大胆に仕上げる生徒、それぞれのやり方で得心の一作を書き上げると、今度はマスキングテープとシールで文字の周りを飾ります。Cantik (チャンティ：美しい、可愛いという意味) するのは、実はマレーシア人にとってはとっても大切なことなのです。書道以上に時間をかけていかにセンス良くCantikするのか時間ぎりぎりまで考えに考えて仕上げていました。

(松本純子)



筆はこう持つのよ



むずかしかった「龍」Cantik でしょ



笑顔で体験!



ふれあい交流祭りに初参加して

11.23(祝)

田尻町の関西国際センターで開催されたふれあい交流祭りにスタッフとして初めて参加。わが岸和田市国際親善協会のブースでは漢字一文字の色紙作りや、独楽やケン玉、羽子板、縄跳びなど日本の遊びを体験

してもらい、子どもから大人まで大盛況でした。



海外研修生と近隣市民の交流を目的とした祭りで、24回の歴史を重ねているだけにイベントの認知度が高く、しっかり定着していると感じました。また同センターが普段から一般市民に図書



館を開放して、本の貸し出しも行っていることを知り、自由闊達な開かれた場であることに驚きました。セキュリティ厳しく外部と遮断されている施設だと思い込んでいたのです。清々しい秋空のもと、多様な国の研修生と交流しているうちに、海外に行った時の高揚感がよみがえり、元気になって帰ってきました。

(新矢由紀)





姉妹都市SSF市から岸和田訪問

2023年 10.06.金

サウスサンフランシスコ市から、15名が岸和田市を訪問しました。だんじり祭りや五風荘の日本庭園、岸和田市国際親善協会主催の書道体験など、文化交流を通じて岸和田を満喫されました。

■日本の心、書道を体験！

コロナ制限解除後初の来日 SSFメンバーの方の歓迎イベントの一つが、浪切ホールでの習字体験でした。岸和田市国際親善協会メンバーと、SSF15名の方たちが各自決められた座席に着席、用意された漢字の中からくじ引き形式で一つ選び、その漢字をサインボードに清書、お土産として持って帰ってもらうという段取りです。

サポート役の私たちは横に付いて書き方のアドバイスをしていますが、筆の使い方にも慣れない中でどんどん書いて練習していく方から、一枚の紙を大事に使ってじっくり練習する方まで、様々。中でも、ドンさんという男性の方は、お酒好きが高じて「呑(どん)」という漢字を書いて習字を楽しんでいたようです。書きなれ



フランク会長は、自らの名前を筆書きサイン

ない漢字を綺麗に仕上げて書き終えた達成感がSSFの方たちの表情から見て取れ、皆さんそれぞれ心行くまで堪能されていました。

最後は全員で集合写真。カメラに向かって一緒に笑いあう中で、貴重な文化交流の一場面に立ち会えた喜びを密かにかみしめていました。

(広報部：虻江詩奈子)

■親善交流、会食会でおもてなし！

岸和田市国際親善協会は、サウスサンフランシスコ市から来られた皆さんとの交流を深める行事を開催致しました。

岸和田市も五風荘で親睦会を開催。永野市長も参加されました。



五風荘での親睦会で永野市長に記念品を渡すフランク会長

▼五風荘日本庭園にて



芸術の秋 岸和田市の友好・姉妹都市3都市との文化交流盛ん

書道・絵画・陶芸など作品を通じて、小学生から大人までが国際交流を体験しました。



第74回 市展受賞作品展・韓国ソウル特別市永登浦区芸術文化作品 合同展覧会

2023年 11.02.木

岸和田市市展の受賞作品と合同の展覧会がマドカホールで開催されました。

開催に際し、姉妹都市の韓国ソウル特別市永登浦区(よんどんぽく)から、姜廣一 文化会長が岸和田を訪問されました。



自身の書の作品を説明する姜廣一 文化会長



展覧会会場の様子



日中小学生絵画交流展

2023年 11.26.土

岸和田市立小学校の児童と友好都市の中国汕頭市(すわとうし)の児童が描いた絵画の合同展示会がマドカホールで開催されました。



小学生とは思えない書の作品も



市内小学生の作品も多数展示



やさしい日本語をいしょう。

くめだいけ 久米田池

ねんまえ ぎょうき ぼう ねん
1300年前、「行基」という お坊さんが 13年かけて つくりました。

いけ こめ
この池が できてから、お米が たくさん とれるようになりました。

おおさか いちばん おお いけ
大阪で 一番 大きな ため池です。

ぎょうき なら だいぶつ つく
「行基」は、奈良の 大仏も 作りました。

「やさしい日本語をいしょう」冊子
日本語の用例を生活シーンに分けて
わかりやすく掲載した冊子です。
★希望者は事務局にて手渡しましたは、
HPから無料ダウンロード頂けます。





アレックスさん (Alex Balaguero) フランス

10.21(土)

「だんじり」と「サラダ」

フランスのニースの出身のアレックスさんは26歳のハンサムボーイ。

だんじり祭のことをインターネットで知り、友達と一緒に岸和田へ。そこで偶然、駅前の「外国人



のためのだんじりインフォメーションセンター」を訪問したことがきっかけで、今回の EOC のゲストスピーカーに。

日本のお祭りが大好きで、盆踊りや花火大会も見たが、岸和田のだんじりの美しさに感動したとのこと。

彼は、現在パン職人だが、以前は日本食レストランで働いていた食のプロ。出身地の名物の「ニ-

ースサラダ」については、美しい写真で説明してくれた。それぞれのお店のサラダはすべてレシピが異なっていて、同じものはない。だんじりが町ごとに彫り物が異なるように、ニースの人がサラダの写真を見たら、「ああこれは、あそこのレストラン」とわかるのかな。

彼の夢は日本でテラスのあるレストランを持つこと。シェフ姿のアレックスさんが「Bonjour」と迎えてくれる日は近い。

(内田満弥)



だんじり祭りに訪れたアレックスさん (画面中央)



スヴェンさん (Sven Bjelan) クロアチア

11.18(土)

二つの光 ~クロアチアと日本の架け橋に~

スヴェンさんはクロアチアの首都ザグレブ出身の在阪クロアチア共和国名誉領事補佐です。EOCには、奥様の麻香里さんと息子の二光(ニコ)ちゃん(3歳)も一緒に来てくれました。

彼は昨年まで、新潟県十日町市でクロアチアと日本の交流活動をしていました。そこは、日韓 W 杯の時、クロアチアチームのキャンプ地で、両国の友好関係は深いものでした。愛らしい二光ちゃんは新潟生まれです。



スヴェンさんは、書と柔道を愛するクロアチアのサムライだったのです。

愛息ニコちゃんの名前には、クロアチアと日本の二つの光に恵まれた勝利者 (Nike) という願いが

こもっているのですね。

彼は日本語も流暢なのですが、EOCでは日本語を封印。機会があれば、美味しいクロアチアワインを飲みながら、日本語でおしゃべりしたいですね。

(山本美千代)



彼と日本との関わりは、十数年前からでした。ザグレブで見た日本の書道に魅せられて、二つの日本の大学に留学し、日本語と日本文化を学びました。



みんなで、ミカン祭り!



12月1日
日本語サロン(東岸和田)で、ミカン祭りに行ってきました!



岸和田ブックフェスタ 2023・秋

絵本でつながるみんなの世界 11.04(土)



岸和田市立図書館本館にて「絵本でつながるみんなの世界」を開催しました。岸和田ブックフェスタ2023・

秋のイベント企画のひとつとして採用していただき、海外ルーツの親子をはじめさまざまな親子が楽しめるイベントを作りたいという思いが実現しました。

絵本の読み聞かせでは、『ぞうくんのさんぽ』（なかのひろたか／さく・え 福音館書店）を日本語版・英語版・ベトナム語版で読み、外国語版は母語話者のママに担当してもらいました。その他に手遊び、こどもはお絵描き、大人は自己紹介をする時間を設け、絵本を通じた交流の時間を楽しみました。多言語版の絵本や海外の文化を紹介する絵本の展示も行いました。さまざまな方のご協力のおかげで開催することができました。

岸和田市立図書館では英語版・中国語版をはじめ、最近ではベトナム語版の絵本も貸し出しされています。みなさんもぜひ絵本を通じて広がる世界をのぞいてみてください。（茶木花菜）



Information

■地球村クッキング～パキスタン編～

【日時】3月3日(日) 10:00～
【場所】市立公民館分館(春木若松町)実習室

詳しくは、チラシをご覧ください。

■2024年度総会

【日時】5月11日(土) 14:00～
【場所】自泉会館ホール

■English Open Café

各国からのゲストをお招きし、英語でプレゼンをしていただき交流を図ります。

【日時】9月以外の第3土曜日 13:30～15:30
【場所】マドカホール 3F 視聴覚室
【費用】無料(先着30名まで受付します)

*事務局にお申込みください。

今回の地球どんぶりバスツアーは、故米川典子様からの
お志により行うことが出来ました。

ご厚意に感謝いたしますとともに、あらためて米川典子様
のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

世界の民族衣装

ネパール編



サリー (サリ)

赤いサリーを美しくお召しになっているのは岸和田在住ネパール人のウシャさんです。ネパールは赤色が大好きな国民だそうで、サリーも赤、口紅も赤、ネイルも赤が定番。ただしサリーの色は既婚女性が赤、未亡人は白、他は赤と白以外という決まりがあるそうです。サリーは5メートル以上の布をくるくる身体に巻き付けて着装し、下には短いTシャツ状のチョリとアンダースカートを着ています。

実は筆者も2020年10月に、KIMONOクラブの講座の一環で、サリーの着装を体験しました。この時指導してくださったのがウシャさんでした。ウシャさんがサリーを器用に巻きつけ、



ダサイン祭りで息子さんと

余った布を肩にかけ、顔まわりが華やかになるよう仕上げてくださいました。サリー自体にキラキラした刺繍やビーズ、ミラーが施されている上に、たくさんのアクセサリーで飾ります。

最後におでこに赤い印のティカをつけて完成。ネパールの赤いティカは「幸せが来るように」との祈りが込められているそうです。ヒンドゥー教徒の最大のお祭り「ダサイン」では、華やかなサリーを新調して、仕上げに赤いティカを付ける風習があり、とても盛り上がるそうです。筆者も赤いティカをつけた瞬間テンション急上昇！

これは楽しい！サリーを愛するネパール女性の気持ちがよ～くわかりました。（新矢由紀）



2023年 10.29.日



地球どんぶりでは、日本語教室の皆さんと日本・奈良を知る、体験するツアーを開催しました。当日参加された方から、体験感想記を頂きましたので、そのまま掲載します。

奈良一日の旅

10月29日 福祉センター日本語教室 皆さん、奈良へ旅行しました。

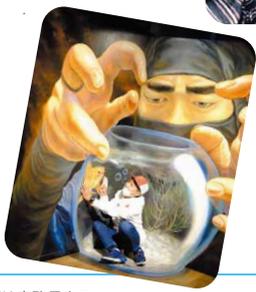
9時出発してバスに乗って外の景色、気持ち良い。最初は金魚ミュージアム到着しました。いろいろ種類、金魚とても綺麗で、可愛いお魚もいました。写真もいっぱい撮りました。

次は奈良公園に行きました。公園でお弁当を食べました。シカのプンの臭いが来るので、お弁当がおいしくなかった。せんべいも持って見たり、シカにあげます。カシコイ、シカがあげた。またまでつつかれた。たがシカのあかちゃんにせんべいをあげました。シカがおいしいそうにせんべいを食っているので、うれしくおもしろいのが私もあじ味しました。まじはうすく、まじはなかった。

次は大仏殿行きました。大きな大仏を見ました。蝴蝶のまじは六本、八本の蝴蝶もありました。これも何が蝴蝶のまじは八本です。きれいな、私は昔の人がまじがいて作りましたと答えました。

たのしかった、また日本語教室でこんな活動良かったです。ありがとうございました。

たのしかった、また日本語教室でこんな活動良かったです。ありがとうございました。



たのしかった遠足 三年 (Y・Y)
しかせんべいをもつとしかがたくさんよ、てきて、はしること。てもはやか。た。しかせんべいをあげると手までたべられて手がしかのよだれだらけにな。ててもくさか。た。帰るときにせんべいをも、ていなのじかにしてもかづよくつつかれた。わるいしかもいれば優しいしかもいた。きんぎょミ。ウジウムでは、きんぎょのしんをと、たり水そうはともきれいで、なせ光、ていろかふしぎだ。たしきんぎよがたくさんいて八十以上あ。た。あか色や、白、黒があ、てほかにいろいろいろなし、るいがあ。た。もしねこがいたらせ、たいきんぎよ、食べ方たにな、ていたも、とおもしろか。たと思、う。また行きたいなと、思。た。